

子ども予防接種週間のお知らせ

3月1日(月)から3月7日(日)は、子ども予防接種週間です。この期間は、通常の診療時間に予防接種が受けにくい方のために、平日のほか、土曜、日曜に協力医療機関で接種ができます。4月からの入園・入学・進学・就職などに備え、必要な予防接種を済ませましょう。特に中1、高3に相当する年齢の方は、3月末までに公費負担による麻疹、風しんの予防接種を済ませましょう。詳細は、お住まいの市町の予防接種担当課またはかかりつけ医へお問い合わせください。

発生動向の概況

インフルエンザは減少しました。県内の定点当たり患者報告数は、第6週 1.5人、第7週 0.5人となり、県下全域で散發程度の発生です。今のところ衛生環境研究所において検出されたウイルスは新型のみで、季節性の検出はありません。新型の流行は全国的に落ち着きつつありますが、例年ではこれからB型の小流行が発生する時期ですので、引き続き、咳エチケット、人ごみでのマスク着用、手洗い、うがいなどの感染予防対策を励行してください。

感染性胃腸炎が依然流行しています。県内の定点当たり患者報告数は、第4週 26.4人をピークに減少に転じましたが、第7週は17.6人と依然高いレベルで推移しています。多発していた中予と八幡浜地区では3週連続して減少しましたが、その他の地区では横ばいで推移しています。病原体はノロウイルスが高率に検出されています。感染予防対策として手洗いが最も大切です。食事や調理の前、トイレの後には石けん(液体石けんが望ましい)を使用し、流水で十分手を洗いましょう。また症状のある方の便や吐物を処理する時は、特に注意してください。

RSウイルス感染症が多発しています。県内の定点当たり患者報告数は、第6週 3.8人、第7週 3.5人と、過去5年間で最も高い値となりました。県下全域で発生していますが、特に今治地区(第7週 定点当たり 9.2人)、西条地区(同 7.3人)で多発しています。年齢別では、1歳以下の患者報告が全体の48%を占めています。この疾患は、呼吸器感染症で、年齢が低いほど重症化する傾向があります。家庭内や施設内で拡がりやすい感染症ですので、インフルエンザ予防と同様に、咳エチケット、手洗い、うがいを励行してください。

県内での感染症発生状況

全数把握感染症(結核は除く)

三類感染症 : 腸管出血性大腸菌感染症 1例(O103)

四類感染症 : E型肝炎 1例

新型インフルエンザ等感染症(クラスターサーベイランスによる集計。医療機関および社会福祉施設等を対象。)

今回、集団発生の報告はありませんでした。

定点把握感染症(数字は最新週の定点当たり報告数、発生地区は保健所名を記載)

	愛媛県推移	県内の傾向
インフルエンザ	0.5	県下全域で散發程度の発生。
RSウイルス感染症	3.5	例年と比べ、高い発生レベルで推移。特に西条地区、今治地区で多発。
A群溶レン菌咽頭炎	1.2	県下全域で散發。宇和島地区では減少したが、東中予ではやや増加傾向。
感染性胃腸炎	17.6	県下全域で流行しているが、減少傾向。病原体はノロウイルスが主流。
水痘	1.9	県下全域で散發しているが、例年と比べ少ない。宇和島地区で増加傾向。

解析評価委員のコメントから

インフルエンザ : 散發的に見られる程度になってきました。季節性もほとんど出てないようです。(中予)

RSウイルス感染症 : 流行しています。例年に比べ今年が多いです。(東予)

入院加療を要する乳幼児が続いています。今年入院症例は、発熱とCRPが高値な症例が目立ちます。(南予)

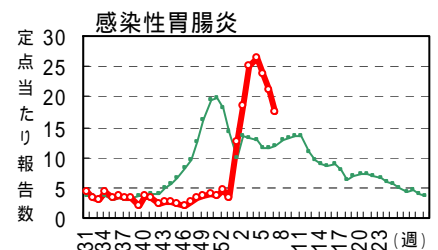
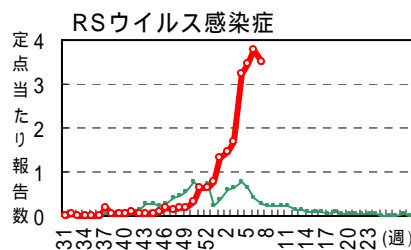
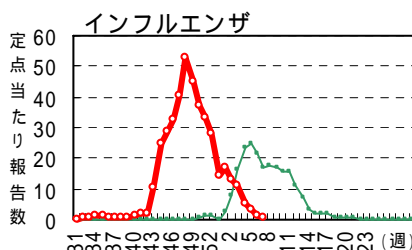
感染性胃腸炎 : まだ多いですが、増加傾向はなくなりました。(東予)

やや減少しています。嘔吐が中心で、下痢は軽い方が多いようです。年少児のみならず年長児でも嘔吐がひどく、高熱や腹痛も見られるため、輸液が必要な方が少なくありません。(中予)

軽症例が多発しています。(南予)

水痘 : 保育園ごとの小流行が続いています。(南予)

過去30週の動向 (○: 過去30週の動向、●: 過去10年の平均)



(注) 本情報での患者数は届出医療機関所在の保健所での集計で、患者の住所を示すものではありません。
感染症情報に関するご意見、ご質問は eikanken@pref.ehime.jp までお願い致します。

病原体検出情報

平成22年2月24日現在

7月以降のインフルエンザウイルス検出状況を表に示しました。現在までにインフルエンザ様疾患患者検体から検出されたウイルスは、すべて新型インフルエンザウイルスで、季節性のインフルエンザウイルスはまだ検出されていません。第3週以降、下気道炎および不明熱の患者からRSウイルスがそれぞれ4例、1例検出されており、昨年11月からの累計では10例検出されています。

感染性胃腸炎では、1月に採取された検体から下痢原性大腸菌とノロウイルスあるいはサポウイルスが検出された重複感染例が2例ありました。また、2月1日から17日までに採取された11検体からノロウイルスGが8例(72.7%)と、高率に検出され、そのうち2例はアデノウイルスとの重複感染でした。ロタウイルスは1例検出されています。

インフルエンザウイルス検出状況(入院症例、集団発生事例を除く)

型	期間 保健所	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1週 1/4-	2週 1/11-	3週 1/18-	4週 1/25-	5週 2/1-	6週 2/8-	7週 2/15-	計
		新型	四国中央 西条 今治 松山市 松山 八幡浜 宇和島	1	4 3	1 3	11 7	5 23	5 1	2 2 3	1 2 3	1 1 2	1 1 1	1 1 2	
計		1	12	5	26	51	26	12	10	5	5	9	3	165	

過去5週 検出病原体(インフルエンザウイルスを除く)

(1月18日以降採取検体)

週	採取期間	発生地区	臨床診断名	検出病原体	検体	例数
3	1/18~1/24	松山市	感染性胃腸炎	ノロ	糞便	2
				サポ	糞便	1
				ノロ、サポ	糞便	1
				ノロ、サポ、下痢原性大腸菌	糞便	1
			下気道炎	RS	咽頭ぬぐい液	1
4	1/25~1/31	宇和島	下気道炎	単純ヘルペス1*	咽頭ぬぐい液	1
		西条	感染性胃腸炎	ノロ、アデノ	糞便	1
		松山市	感染性胃腸炎	ノロ	糞便	4
			下気道炎	ノロ、下痢原性大腸菌	糞便	1
			不明熱	RS	咽頭ぬぐい液	3
5	2/1~2/7	松山市	感染性胃腸炎	ノロ	糞便	4
6	2/8~2/14	今治	感染性胃腸炎	ロタ	糞便	1
		松山市	感染性胃腸炎	ノロ	糞便	1
7	2/15~2/21	松山市	感染性胃腸炎	ノロ、アデノ	糞便	2
				ノロ	糞便	1

* 新型インフルエンザと重複

月別病原体検出結果

検出病原体	検体採取月				2009		2010		合計
	9	10	11	12	1	2			
ウイルス	コクサッキー B2			1				1	
	新型インフルエンザ	5	26	51	26	32	12	152	
	RS			1	2	7		10	
	ロタ				1	1		2	
	ノロ		1		1	20	8	30	
	サポ				1	4		5	
	アデノ		1	3	1	3	2	10	
	アデノ2	1	1	1				3	
	アデノ5			1				1	
	単純ヘルペス1		1	2	1	1		5	
ウイルス計	6	30	59	33	68	23	219		
細菌	下痢原性大腸菌				2			2	
	インフルエンザ菌 b型			1				1	
細菌計			1	2			3		

臨床診断名別検出結果 (2009年12月以降採取検体)

検出病原体	インフルエンザ	感染性胃腸炎	無菌性髄膜炎	下気道炎	上気道炎	不明熱	合計
コクサッキー B2						1	1
新型インフルエンザ	66			4			70
RS				7	1	1	9
ロタ		2					2
ノロ		29					29
サポ		5					5
アデノ		6					6
単純ヘルペス1			1	1			2
ウイルス計	66	42	1	12	1	2	124
下痢原性大腸菌		2					2
細菌計		2					2

愛媛県 定点把握五類感染症 2010年 第 7 週 (2010.2.15 ~ 2.21)

患者報告数		1) インフルエンザ	小児科定点										眼科定点		基幹定点				四国中央 西条 今治 松山市 松山 八幡浜 宇和島					
			RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	菌頭炎	A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	2) 細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎		3) マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎			
保健所別	四国中央	1	10		3	38	4								-	-							四国中央	
	西条	4	44		5	83	9	1	3	1														西条
	今治	16	46	3	7	80	7	2		7			1	1								1		今治
	松山市	5	18	5	26	268	23	5		10			1	2	-	-	-	-						松山市
	松山	3	7		2	49	4			4			1											松山
	八幡浜 宇和島	1 1	2 2			92 40	3 19			1 1	2 1	1		1										八幡浜 宇和島
週推移	愛媛県	31	129	8	46	650	69	8	4	25	1		4		3						1		愛媛県	
	1週前	93	140	4	37	775	60	13	3	39	1		3		10						1		1週前	
	2週前	193	128	2	70	875	56	5	9	39			6		8						7		2週前	
	3週前	333	119	2	35	976	50	3	10	37			5		10						7		3週前	
年齢別	0-5ヶ月		6			4	2																0	
	6-11ヶ月	2	15	1	1	33	5																1-4	
	1	1	35	1	1	88	7	1		8												1	5-9	
	2		28	1	3	68	21	3		1			1										10-14	
	3	5	23		2	62	15	3															15-19	
	4	3	10	1	6	80	10																20-24	
	5		9	1	13	52	4			1			1										25-29	
	6	1	1	3	3	64	2			1													30-34	
	7	1	1		3	37	3							1									35-39	
	8	2			1	33		1	2														40-44	
	9		1		3	23																	45-49	
	10-14	4			7	61																	50-54	
	15-19	2			1	11																	55-59	
	20-29 ⁴⁾	4			2	34									1								60-64	
	30-39	1																						65-69
	40-49	1																						70-
50-59	3														2									
60-69																								
70-79 ⁵⁾	1																							
80-																								

定点当たり報告数

保健所別	四国中央	.2	3.3		1.0	12.7	1.3								-	-							四国中央
	西条	.4	7.3		.8	13.8	1.5	.2	.5	.2													西条
	今治	2.0	9.2	.6	1.4	16.0	1.4	.4		1.4			.2	1.0							1.0		今治
	松山市	.3	1.6	.5	2.4	24.4	2.1	.5		.9			.1	.7	-	-	-	-					松山市
	松山	.4	1.8		.5	12.3	1.0			1.0			.3										松山
	八幡浜 宇和島	.1 .1	.5 .5		.8	10.0	4.8			.3	.5 .3	.3											
愛媛県	.5	3.5	.2	1.2	17.6	1.9	.2	.1	.7	.0		.1	.4								.2		愛媛県

- 1) 鳥インフルエンザを除く。 2) 髄膜炎菌性髄膜炎は除く。 3) オウム病を除く。
 4) 小児科定点疾患については20歳以上の全患者数を"20-29"に計上。 5) 眼科定点疾患については70歳以上の全患者数を"70-79"に計上。

(参考) 保健所別定点数

定 点 数	愛媛県	四国中央	西 条	今 治	松山市	松 山	八幡浜	宇和島
インフルエンザ定点	61	5	10	8	17	7	7	7
小児科定点	37	3	6	5	11	4	4	4
眼科定点	8	-	1	1	3	1	1	1
基幹定点	6	1	1	1	-	1	1	1

注) 表中の報告数は2月23日集計分であり、その後の報告数は次週以降に反映されます。

愛媛県 定点把握五類感染症 2010年 第 6 週 (2010.2.8 ~ 2.14)

	患者報告数	小児科定点											眼科定点		基幹定点					
		1) インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	2) 細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	3) マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎
保健所別	四国中央	21	12		1	46			1	2			1	-	-					四国中央
	西条	11	28		5	72	14	2	2	9			1							西条
	今治	12	68	3	5	96	3	2		9				6				1		今治
	松山市	29	26	1	13	359	24	9		7	1		1	1	-	-	-	-		松山市
	松山	9	3		5	58	3			5										松山
八幡浜	2	1		5	108	6			5					3					八幡浜	
	宇和島	9	2		3	36	10		2										宇和島	
週推移	愛媛県	93	140	4	37	775	60	13	3	39	1		3	10				1		愛媛県
	1週前	193	128	2	70	875	56	5	9	39			6	8				7		1週前
	2週前	333	119	2	35	976	50	3	10	37			5	10				7		2週前
	3週前	696	63	3	37	924	64	6	4	31			9	10				1		3週前
年齢別	0-5ヶ月	1	12			4	2			1										0
	6-11ヶ月	2	18		1	41	5			25										1-4
	1	3	43			115	11	1		13								1		5-9
	2	1	39		2	81	18	4					1							10-14
	3	4	12	1	3	91	9	2												15-19
	4	6	11	2	4	93	4				1		1	1						20-24
	5	10	4		5	72	4	2	1											25-29
	6	10	1	1	8	67	5	1	2				1							30-34
	7	3			2	49	2							1						35-39
	8	8			1	30			1											40-44
	9	6			2	36														45-49
	10-14	22			9	67		2						1						50-54
	15-19	3				2														55-59
	20-29 ⁴⁾	2				27								1						60-64
	30-39	5												1						65-69
	40-49	3																		70-
	50-59	3												3						
60-69	1												2							
70-79 ⁵⁾																				
80-																				

定点当たり報告数

保健所別	四国中央	4.2	4.0		.3	15.3			.3	.7			.3	-	-					四国中央
	西条	1.1	4.7		.8	12.0	2.3	.3	.3	1.5			.2							西条
	今治	1.5	13.6	.6	1.0	19.2	.6	.4		1.8				6.0				1.0		今治
	松山市	1.7	2.4	.1	1.2	32.6	2.2	.8		.6	.1		.1	.3	-	-	-	-		松山市
	松山	1.3	.8		1.3	14.5	.8			1.3										松山
八幡浜	.3	.3		1.3	27.0	1.5			1.3				3.0							八幡浜
	宇和島	1.3	.5		.8	9.0	2.5		.5											宇和島
愛媛県	1.5	3.8	.1	1.0	20.9	1.6	.4	.1	1.1	.0		.1	1.3				.2			愛媛県

- 1) 鳥インフルエンザを除く。 2) 髄膜炎菌性髄膜炎は除く。 3) オウム病を除く。
 4) 小児科定点疾患については20歳以上の全患者数を"20-29"に計上。 5) 眼科定点疾患については70歳以上の全患者数を"70-79"に計上。

(参考) 保健所別定点数

定 点 数	愛媛県	四国中央	西 条	今 治	松山市	松 山	八幡浜	宇和島
インフルエンザ定点	61	5	10	8	17	7	7	7
小児科定点	37	3	6	5	11	4	4	4
眼科定点	8	-	1	1	3	1	1	1
基幹定点	6	1	1	1	-	1	1	1

注) 表中の報告数は2月16日集計分であり、その後の報告数は次週以降に反映されます。

全国 定点把握感染症 第5、6週 (2010.2.1 ~ 2.14)

(定点当たり報告数)

		小児科定点											眼科定点		基幹定点					
		1) インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	2) 細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	3) クラミジア肺炎	
5週	愛媛県	3.2	3.5	.1	1.9	23.6	1.5	.1	.2	1.1			.2		1.0			1.2		
	近畿県	香川県	2.7	3.4	.1	.8	19.0	1.0	.4		.4			.5		.3		.4		
		徳島県	2.0	6.6	.2	.5	14.7	.7			.3		.1	.5		.2		.2		
		高知県	2.8	4.0	.0	.9	15.8	.5	.1	.0	.4	.0		.1				.1		
	全 国	4.3	1.5	.1	1.6	13.9	1.3	.2	.1	.5	.0	.0	.7	.0	.5	.0	.0	.3	.0	
	北海道	1.2	.9	.2	2.5	4.7	1.1	.1	.0	.3		.0	1.3		.1			.2		
	東北	3.0	1.4	.2	1.9	12.4	1.2	.2	.1	.5	.0	.0	.7		.4		.1	.5		
	関東	5.0	.7	.1	1.8	15.1	1.1	.1	.2	.5	.0	.0	.7	.0	.8	.0	.0	.3		
	甲信越北陸	6.2	1.2	.2	2.2	14.4	1.5	.2	.1	.5	.0	.0	.6	.0	.3		.0	.2	.0	
	東海	6.1	1.9	.1	1.0	11.0	1.0	.1	.1	.4	.0	.0	.4		.1	.0	.1	.3	.0	
近畿	3.6	1.7	.1	1.1	11.9	1.2	.1	.0	.4	.0	.0	.6		.3	.0		.1			
中国四国	2.8	2.5	.2	1.5	19.0	1.0	.4	.1	.5	.0	.0	.5		.6	.0	.0	.3	.0		
九州沖縄	4.2	2.0	.2	1.3	16.4	2.3	.2	.1	.7	.0	.1	1.2	.0	1.0	.1	.0	.1	.0		

(2.10集計)

6週	愛媛県	1.5	3.8	.1	1.0	20.9	1.6	.4	.1	1.1	.0		.1		1.3			.2		
	近畿県	香川県	1.3	3.3	.2	1.1	15.0	1.1	.2		.5	.1	.0	.4		1.0	.2			
		徳島県	1.2	7.0	.3	.7	11.9	.6			.2			.5						
		高知県	1.5	3.3	.1	.9	18.5	.9	.0	.1	.3			.1		.3				
	全 国	2.8	1.4	.1	1.5	12.5	1.4	.2	.1	.5	.0	.0	.7	.0	.5	.0	.0	.3	.0	
	北海道	1.0	1.2	.1	2.4	3.8	1.0	.2	.0	.4	.0	.0	1.3		.3			.3		
	東北	2.2	1.5	.2	2.2	10.6	1.3	.2	.1	.5	.0	.1	.9		.5	.0		.8		
	関東	3.5	.7	.1	1.7	13.6	1.3	.1	.1	.4	.0	.0	.7	.0	.8	.0	.0	.3	.1	
	甲信越北陸	3.7	1.2	.2	2.1	12.9	1.6	.3	.1	.5	.0	.0	.7	.0	.3	.0	.0	.1		
	東海	3.9	1.7	.1	.9	9.8	1.1	.1	.1	.5	.0	.0	.5	.0	.1		.0	.1	.0	
近畿	2.2	1.6	.1	1.3	11.2	1.3	.1	.0	.4	.0	.0	.7	.0	.3		.0	.3			
中国四国	1.6	2.3	.2	1.3	17.1	1.4	.4	.0	.5	.0	.0	.6	.0	.6	.1	.0	.3			
九州沖縄	2.9	1.9	.3	1.3	14.4	2.4	.2	.1	.7	.0	.0	1.0	.0	.5	.0	.0	.2			

(2.17集計)

1) 鳥インフルエンザは除く。 2) 髄膜炎菌性髄膜炎は除く。 3) オウム病を除く。

全国 全数把握感染症 第5、6週 (2010.2.1~2.14)

疾病名	二類		三類感染症					四類感染症														五類感染症																							
	(1) 急性灰白髄炎	(2) 結核	(1) コレラ	(2) 細菌性赤痢	(3) 腸管出血性大腸菌感染症	(4) 腸チフス	(5) パラチフス	(1) E型肝炎	(3) A型肝炎	(4) エキノコックス症	(6) オウム病	(10) Q熱	(12) コクシジオイデス症	(18) つつが虫病	(19) デング熱	(23) 日本紅斑熱	(24) 日本脳炎	(28) ブルセラ症	(30) 発疹チフス	(32) ポツリヌス症	(33) マラリア	(34) 野兔病	(35) ライム病	(38) 類鼻疽	(39) レジオネラ症	(40) レプトスピラ症	(1) アメーバ赤痢	(2) ウイルス性肝炎 (E型及びA型肝炎を除く)	(3) 急性脳炎	(4) クリプトスポリジウム症	(5) クロイツフェルト・ヤコブ病	(6) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症	(7) 後天性免疫不全症候群	(8) ジアルジア症	(9) 髄膜炎菌性髄膜炎	(10) 先天性風しん症候群	(11) 梅毒	(12) 破傷風	(13) パンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	(14) パンコマイシン耐性腸球菌感染症	(14-2) 風しん	(14-3) 麻しん			
第5・6週報告数	全国	491	5	34	1		1	11					6	4						2	1			11			11	2	7		2	2	29	1			6	1		3	4	14			
ブロック別	四国	愛媛県	7																																										
	香川県																																												
	徳島県	5																																											
	高知県	6						1																																					
	北海道																																												
	東北	41			1			1																																					1
	関東	226		3	17									3	4						1						6	1	2		1	1	17	1				5			1	1	12		
	甲信越北陸	28			2			1	1																																				
	東海	56			2				1																																				
	近畿	48		1	6	1			3					1							1																							2	1
中国四国	39			3				2					1																														1	1	
九州沖縄	53		1	3				3					1																																
週推移	全国	6週	226		1	12	1		1	6				5	1					2							3		4			1	13	1			4			2	2	5			
	5週	265		4	22									1	3												8	2	3		2	1	16			2	1		1	2	9				
	4週	244		3	19				1	2				6	2	1				1							12	1	4		1	1	8				12			1	5				
	3週	301	1	3	14					1				4						1							12	2	5		1	3	17			8	1		1		10				
2010年累積数	全国	2201	1	23	129	2		5	25	1			26	7	1					9	3	1	64			87	9	42	1	9	18	123	6			50	5		9	10	50				
	四国	愛媛県	30																																										
	香川県	10																																											
	徳島県	21			1									1																															
	高知県	17							1					1																															
	北海道	49						1		1																	1						4											1	
	東北	124		1	2				1					1													3		3		1		2					3					3		
	関東	900	1	16	48	1		1	6					7	5	1					5						41	3	12	1	2	10	61	4			23	1		4	3	29			
	甲信越北陸	119			12			2	3																																				
	東海	312			14				1						2																														
近畿	271		3	17	1		1	4					6							4																						4	6		
中国四国	194			25				3					3																																
九州沖縄	232		3	11				7					9																																

・医療機関での診断日をもとに集計。集計日以降の報告数は、次週以降の累積に反映されます。
 ・新型インフルエンザは掲載していません。

(2010.2.17集計)